

平成21年3月31日現在 「地域密着型金融推進計画」の取組み状況

当組合は、「地域の皆様と共に、地域社会の発展に貢献する。」という経営理念のもと、相互扶助精神に基づいて、協同組織金融機関としての社会的役割を全うすることを目指しています。

地域の発展に向けて、当組合がその機能を発揮し続けていくためには、信用組合の原点に立ち返って、組合員の皆様からの支持を確保し、地域社会との共存共栄を図っていく必要があると考えています。

このような趣旨に基づき、当組合では、平成19～20年度の2年間の推進期間とする「地域密着型金融推進計画」を策定し業務に取組んでおります。同計画の内容と、昨年度（平成20年3月31日現在）の取組み状況につきましては、既に本ホームページ上で公表させていただいておりますが、新たに、平成21年3月31日現在の取組み状況をご報告させていただきます。

平成21年5月29日

理事長 中尾 信行

「地域密着型金融推進計画」の取組み状況（平成21年3月31日現在）

下線表示箇所は、当初計画に対して見直しを行った内容です。

(1) ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化		
< 取組み方針 > 取引先企業の成長段階に応じたきめ細かい支援は不可欠であり、そのために、研修会などにより、職員の目利き能力の向上等のスキルアップを図るとともに、引続きコンサルタント能力・態勢の強化やビジネスマッチング等で自らの情報機能や商工会などを活用した取引先への支援強化に取組んでまいります。		
具体的取組策・重点事項等	計画の当初目標・実施予定時期等	平成19年度～20年度の取組み内容
・業界団体が実施している各種研修会へ積極的に参加し、研修終了後の還元研修を実施するとともに、融資部主導による計画的な内部勉強会を実施することにより、職員の更なるスキルアップに取組み、目利き能力・コンサルタント能力等の向上を図ります。	・外部研修には、平成19・20年度の各年度、15名以上の職員の参加を図ります。 ・内部勉強会は、平成19・20年度の各年度、3回の実施を目標としています。	< 19年度の取組み実績 > ・外部研修3講座に19名の職員を派遣しました。 ・外部講師による内部研修を2講座実施し、延べ61名が参加しスキルアップに取組みました。 ・内部勉強会として、審査課主催勉強会を3回、管理課主催勉強会を4回実施しました。 < 20年度の取組み実績 > ・外部研修3講座に24名の職員を派遣しました。 ・外部講師による内部研修を1講座実施し、17名の職員が参加し、融資渉外のスキルアップに取組みました。 ・銀行業務検定試験「中小企業経営支援アドバイザー」対応の通信講座に31名が受講し、30名が修了しました。 ・内部勉強会として、自己査定関連勉強会を4回、審査課主催勉強会を3回、管理課主催勉強会を4回実施しました。
・毎年度経営改善支援先の抽出・見直しを行い、企業支援室が主体となって各営業店と連携して、経営改善支援と債務者区分のランクアップに取組みます。	・平成19年度は50先の経営改善支援先を抽出し、その中から5先の債務者区分のランクアップを目標としています。 ・20年度は、19年度の抽出先や実績をベースに見直しを行い、継続的な経営支援に取組みます。	・19年度は、経営改善支援先50先の中より、4先がランクアップとなりました。 ・20年度は、支援先の見直しを行い134先とし、そのうち6先がランクアップとなりました。 ・「しんだん福岡」との連携により経営相談会を開催し、13先の取引先企業が参加されました。また、6先が「しんだん福岡」の経営相談機能を活用されました。
・信組業界の情報提供システムである「あのねット」について、職員への説明研修の実施により利用促進に取組み、取引先への情報提供及び経営改善支援を図ります。	・「あのねット」の「ライフプランシミュレーション簡易版」や「経営診断システムの機能改良版」が、平成20年1月に提供される予定であり、平成20年3月末までに内部説明研修会を実施し、活用を図ります。	・20年度上期からの活用を計画していましたが、個人情報保護の問題から営業店単位でのインターネット機能構築を凍結することとしたため、活用できていません。 ・代替策として、「しんだん福岡事業」の経営診断機能を活用し、経営支援に取組んでいます。
・営業エリア内の市町村の制度資金融資や、商工会等との連携融資(制度資金融資・斡旋融資)に積極的に取組み、地域の活性化を図ります。	・市町村や商工会の各種制度資金融資等に取組みます。(平成19～20年度)	・19年度下期より、県下の地域三信用組合が協調して、福岡県商工会会員向けの統一融資商品の開発に取組み、平成20年6月24日に「しんくみメンバーズサポートローン」の名称で発売しました。 ・各地区商工会に積極的にPRを行い、16件/69百万円を実行しました。

(2) 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

<p>< 取組み方針 > 金融機関としての目利き機能を高め、取引先との日常的なコミュニケーションを通じて得た定性情報を活かし、不動産担保・個人保証(第三者保証)に過度に依存することなく、取引先企業の事業価値を見極める融資手法に積極的に取り組んでまいります。</p>		
<p>具体的取組策・重点事項等</p>	<p>計画の当初目標・実施予定時期等</p>	<p>平成19年度～20年度の取組み内容</p>
<p>・不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資商品の開発及び現行商品の見直し検討を行い、更なる推進を図ります。</p>	<p>・不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の推進を図ります。(平成19～20年度) ・現行の不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資商品について、新規商品の必要性も含めて見直しの検討を行い、商品内容の拡充に取り組めます。(平成20年3月末まで)</p>	<p>< 19年度の関連商品の取組状況 > ・事業性支援資金の「ビジネスサポート」を、237件/584百万円実行しました。 ・生活支援資金の「エール」を、81件/114百万円実行しました。 ・4月より、保証付事業性ローン「しんくみパートナーズ」を発売し、16件/25百万円実行しました。 ・7月より、保証付事業性ローン「ライフビジネスローン」を発売し、5件/8百万円実行しました。 ・下期より、特別事業支援資金(担保・保証人原則不要、融資総枠20億円)を発売し、13件/91百万円実行しました。</p> <p>< 20年度の関連商品の取組状況 > ・事業性支援資金の「ビジネスサポート」を、136件/293百万円実行しました。 ・生活支援資金の「エール」を、26件/36百万円実行しました。 ・保証付事業性ローン「しんくみパートナーズ」を、8件/15百万円実行しました。 ・保証付事業性ローン「ライフビジネスローン」を、3件/7百万円実行しました。 ・特別事業支援資金(担保・保証人原則不要)を、7件/46百万円実行しました。 ・20年10月31日から開始された国の「緊急保証制度」を受け、緊急経済対策関連融資として186件/1,680百万円を実行しました。</p>
<p>・業界団体が実施している各種研修会へ積極的に参加し、研修終了後の還元研修を実施するとともに、融資部主導による計画的な内部勉強会を実施することにより、職員の更なるスキルアップに取組み、目利き能力・コンサルタント能力等の向上を図ります。</p>	<p>・外部研修には、平成19・20年度の各年度、15名以上の職員の参加を図ります。 ・内部勉強会は、平成19・20年度の各年度、3回の実施を目標としています。</p>	<p>< 19年度の取組み実績 > ・外部研修3講座に19名の職員を派遣しました。 ・外部講師による内部研修を2講座実施し、延べ61名が参加しスキルアップに取組みました。 ・内部勉強会として、審査課主催勉強会を3回、管理課主催勉強会を4回実施しました。</p> <p>< 20年度の取組み実績 > ・外部研修3講座に24名の職員を派遣しました。 ・外部講師による内部研修を1講座実施し、17名の職員が参加し、融資渉外のスキルアップに取組みました。 ・銀行業務検定試験「中小企業経営支援アドバイザー」対応の通信講座に31名が受講し、30名が修了しました。 ・内部勉強会として、自己査定関連勉強会を4回、審査課主催勉強会を3回、管理課主催勉強会を4回実施しました。</p>

(3) 地域の情報集積を活用した持続可能な地域への貢献

<p>< 取組み方針 > 当組合は地域密着型の金融機関として、地域住民・勤労者に対し、事業性貸出に止まらない多様な金融サービスを提供・推進していくことにより、地域全体の活性化につなげていくことが必要と考えています。</p>		
<p>具体的取組策・重点事項等</p>	<p>計画の当初目標・実施予定時期等</p>	<p>平成19年度～20年度の取組み内容</p>
<p>・毎年定期的に顧客満足度アンケート調査を実施し、分析のうえ、事業方針への反映や業務・商品等の改善を図り、より質の高いサービスの提供に取組みます。</p>	<p>・平成19・20年度とも、11月に顧客満足度アンケート調査を実施します。</p>	<p>・19年11月と20年10月に顧客満足度アンケート調査を実施しました。 ・調査結果を集計・分析し、直ちに改善できる事項については、改善に向けた内部指導に取組みました。 ・アンケート調査で頂いたご意見・ご指摘等については、組合の考えを回答書形式で整理し、公表資料として各営業店窓口に備え置きしております。 ・過去の調査でのお客様の声も踏まえ、20年6月に事業者向けの新商品「しんくみメンバーズサポートローン」を、20年8月には、低金利住宅ローンを発売しました。また、21年4月からの個人年金の新商品の発売に備え、準備を進めました。</p>
<p>・地域住民・勤労者の財産形成の促進を目的に、住宅ローン商品の見直しと、元本の安全性を重視し顧客に理解されやすい金融商品の拡充を図ります。</p>	<p>・平成19年度は、既存住宅ローンの見直しを行います。 ・「個人向け国債」の取扱について、全店で販売できる態勢を整備します。(平成20年9月まで) ・生命保険窓販の個人年金商品の拡充を検討します。(19年度)</p>	<p>・19年度は、住宅ローンの基準金利の引下げと金利優遇条件面の見直し等を実施しました。 ・さらに20年8月には、お客様の要望を踏まえ、低金利住宅ローンを発売しました。 ・21年4月からの個人年金の新商品の発売に備え、準備を進めました。</p>
<p>・特に顧客の関心が高い、年金や資産運用の問題について、的確なアドバイス等ができるよう、年金相談機能・FP機能の能力向上に取組みます。</p>	<p>・平成19年度は年金知識の向上を目指し、内部研修会を実施します。 ・職員のFP技能士(国家資格)取得に積極的に取組みます。(平成19～20年度)</p>	<p>< 19年度の取組み実績 > ・年金研修としては、外部研修に2名派遣したほか、外部講師による内部研修を2回実施し、延べ55名が参加しました。 ・国家資格であるFP技能士に74名が受験し16名が合格しました。 ・国家資格である金融窓口サービス技能士に初めて6名が受験し、4名が合格しました。</p> <p>< 20年度の取組み実績 > ・年金研修としては、外部研修に2名派遣したほか、外部講師による内部研修を4回実施し、延べ82名が参加しました。 ・銀行業務検定試験「年金アドバイザー」対応通信講座に40名が受講し、38名が修了しました。 ・FP技能士に49名が受験し11名(3級から2級への合格者を含む)が合格しました。現在41名の職員が資格取得しています。 ・金融窓口サービス技能士に7名が受験し、2名が合格しました。現在6名の職員が資格取得しています。</p>
<p>・多重債務者に対しては、顧問弁護士の紹介や公共の相談窓口の紹介を行うとともに、早期問題解決の支援のために“おまとめローン”商品の拡充に取組みます。</p>	<p>・“おまとめローン”の商品として、保証付商品の「まとめーる300」の推進と、プロパー商品の「ライフサポートローン」の見直しを行います。(平成19年度)</p>	<p>・新商品の「まとめーる300」を19年7月に発売し、21年3月末までに31件/42百万円実行しました。 ・「ライフサポートローン」については、20年度に商品内容の見直しを行い、2件/11百万円実行しました。</p>

(4) 経営力強化に向けた取組み

経営管理(ガバナンス)の強化

<取組み方針>

経営力を強化するために、組合の経営についての透明性を高め、地域からのチェックや評価を受け、経営改善につなげることが必要と考えています。そのため、情報開示の充実と総代会の機能向上に向けて取り組んでまいります。

具体的取組策・重点事項等	計画の当初目標・実施予定時期等	平成19年度～20年度の取組み内容
<ul style="list-style-type: none"> ・業界団体から示された開示の考えをベースに、開示項目等を検討し、ディスクロージャー誌及びホームページにおいて顧客に分かりやすい情報開示を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスクロージャー誌に、本計画の方針等を開示します。(平成20年7月発行のディスクロージャー誌より) ・ホームページに、本計画の方針・内容と実績等を掲載します。(平成20年1月より) 	<ul style="list-style-type: none"> ・20年7月発行のディスクロージャー誌で、本計画の方針等を公表しました。 ・ホームページに本計画の方針と内容を掲載し、年度ごとに取組み実績を整理し公表しました。
<ul style="list-style-type: none"> ・総代会の仕組みや一般組合員の満足度調査結果等を、ディスクロージャー誌に公表します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスクロージャー誌にて、情報開示を行います。(平成19～20年度) ・定例の通常総代会に加え、地区総代懇談会を実施します。(平成19～20年度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・20年7月発行のディスクロージャー誌で、総代会の仕組み・機能、総代とその選出方法、総代会での決議事項、総代の名簿を開示しましたが、今後も継続していく予定です。 ・19年度は5月と11月に、20年度は2月に地区総代懇談会を実施し、決算状況等の重要事項を報告しました。

リスク管理態勢の強化

<取組み方針>

組合の経営に影響を及ぼす事項について、常に把握・計測を行い、適切な管理を行っていくことが重要と考えています。当組合では、特に信用リスクと市場リスクの管理態勢の充実に取組み、統合的なリスク管理態勢を構築していくことにより、経営力の強化に取り組んでまいります。

具体的取組策・重点事項等	計画の当初目標・実施予定時期等	平成19年度～20年度の取組み内容
<ul style="list-style-type: none"> ・信用リスク管理においては、与信ポートフォリオ管理の強化に取組むとともに、信用格付の導入と活用に取組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成19年度より、与信ポートフォリオ管理の強化を行います。 ・平成20年度中に法人信用格付の整備を完了し、与信管理に活用していきます。 ・法人信用格付について、19年度に「担保評価・管理システム」、20年度に「自己査定支援システム」を導入しましたが、各システムの精度と習熟度を高めたくため、法人信用格付を稼働させる方針に転換しました。その結果、法人信用格付の稼働は平成23年度とすることに変更しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1億円以上の大口与信先、不動産業、土木・建設業、アパートローンの4項目を対象に与信ポートフォリオ管理を実施していますが、19年度より四半期ごとの管理から毎月の管理に変更し、管理態勢の強化に取り組ましました。 ・平成23年度での稼働を目指し、引き続き法人信用格付の整備に取り組んでいます。
<ul style="list-style-type: none"> ・市場リスク管理においては、管理手法や知識面でのレベルアップを図るとともに、ALM管理システムの導入とその活用に取組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種関連研修・セミナー等へ、積極的に参加します。(平成19～20年度) ・平成19年度中にALM管理システムの導入と管理面での活用に取組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市場リスク管理部門の管理者・担当者が、関連するセミナー等に参加し、リスク管理のレベルアップに取り組ましました。 ・19年度はALM管理システムの整備を行い、市場リスク管理面での活用を開始しましたが、20年度は、SKC-ALMシステムVaR分析説明会に参加し、リスク測定技法と活用面でのレベルアップに取り組ましました。

法令等遵守態勢の強化・徹底

<取組み方針>

金融機関として、法令等遵守態勢の強化と徹底については、継続的・反復的に取組み、役職員個々における意識の向上を図りつつ、組織全体としての意識を高めていくことが重要であると認識しています。

具体的取組策・重点事項等	計画の当初目標・実施予定時期等	平成19年度～20年度の取組み内容
<ul style="list-style-type: none"> ・事業年度ごとに「コンプライアンス・プログラム」を策定し、役職員に周知するとともに、年間スケジュールに沿って研修会等を実施します。 また、内部監査やモニタリング等により、コンプライアンス実践状況の検証に取組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業年度ごとに「コンプライアンス・プログラム」を策定し、役職員に周知します。(毎年度4月中に実施) ・19年度は、役職員の階層別でのコンプライアンス研修会を実施します。 ・毎年度、上期と下期に分けて、全営業店のコンプライアンス実践状況のモニタリング検証を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年度「コンプライアンス・プログラム」を策定・周知を図り、コンプライアンスの推進に取り組んでいます。 ・19年度は外部講師による階層別でのコンプライアンス内部研修会を実施し、役員からパート職員まで、全役職員が受講しました。 ・20年度は、外部研修に2名の役職員を派遣しました。 ・半期ごとにコンプライアンス統括部署が全店臨店し、コンプライアンスの取組状況を検証し、検証結果を店舗業績評価に反映させています。 ・四半期ごとに全部署参加のコンプライアンス責任者会議を行い、コンプライアンスに関する情報共有と不祥事等の未然防止に取り組んでいます。

・経営改善支援及び支援融資等の取組み実績（平成20年度の実績）

1. 取引先企業に対する経営改善支援の取組み実績（20年度の実績）

（単位：先）

債務者区分	期初(平成20年4月初)の債務者数 A	Aのうち経営改善支援取組み先数 B	Bのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 C	経営改善支援取組み率 B/A	ランクアップ実現率 C/B
正常先	5,027	9		0.18%	
要注意先	353	19	4	5.38%	21.05%
うちその他要注意先	299	12	0	4.01%	0.00%
うち要管理先	54	7	4	12.96%	57.14%
破綻懸念先以下の先	309	6	2	1.94%	33.33%
正常先以外の合計	662	25	6	3.78%	24.00%
合計	5,689	34	6	0.60%	17.65%

2. 不動産担保や個人保証に過度に依存することのない融資への取組み実績（20年度の実績）

事業性支援資金商品の実績

（金額単位：百万円）

商品名	平成20年度の実行		平成21年3月末残高	
	件数	金額	件数	金額
「ビジネスサポート」	136	293	405	466
保証付事業者ローン 「しんくみパートナーズ」 ¹	8	15	11	15
保証付事業者ローン 「ライフビジネスローン」 ²	3	7	6	9
商工会会員向けローン 「しんくみメンバーズサポートローン」 ³	16	69	16	55

1. 「しんくみパートナーズ」は、平成19年4月より新たに取扱いを始めたローン商品です。
2. 「ライフビジネスローン」は、平成19年7月より新たに取扱いを始めたローン商品です。
3. 「しんくみメンバーズサポートローン」は、平成20年6月より新たに取扱いを始めたローン商品です。

生活支援資金商品の実績

（金額単位：百万円）

商品名	平成20年度の実行		平成21年3月末残高	
	件数	金額	件数	金額
「エール」	26	36	301	228

3. 多重債務者に対する救済・支援資金融資への取組み実績（20年度の実績）

（金額単位：百万円）

商品名	平成20年度の実行		平成21年3月末残高	
	件数	金額	件数	金額
保証付債務一本化資金 「まとめーる300」 ⁴	6	7	16	18
保証付債務一本化資金 「ライフサポートローン」 ⁵	2	11	19	70

4. 「まとめーる300」は、平成19年7月より新たに取扱いを始めたローン商品です。
5. 「ライフサポートローン」は、平成20年9月に商品内容の見直しを行いました。